時代は中央

鶴岡中央高等学校
PTA広報部発行
2015.10.9 第52号

PTAは楽しく無ければ!! パッと 楽しく 明るい 活動がPTA活動である!

PTA会長
本間 篤

PTAは楽しく無ければ!パッと 楽しく 明るい 活動がPTA活動である!は、私の自論です。大人が変われば子どもが変わる!子どもが変われば学校が変わる!学校が変われば地域が変わる!…高校は地域の活性化に大きな影響を与えます。

『高校生になったから少し距離を』と思っている保護者がいたら、今一度、本校PTA活動への強力なお力添えをお願いいたします。

本校PTA役員として関わりを持つ中で感じているのは、田川地区の他高校との比較でも中央高校PTA活動への保護者参加率は低く、何としても何とかしたいという想いで一杯です。

現在、子どもたちは、物質的な豊かさや便利さの中で生活している一方、生活体験・社会体験に乏しく複雑で様々な問題を露呈しています。このような状況の中、保護者同士が強く関わりを持ちながら学校と連携し、『立志』『気づき』『共生』の人間形成に向けて力を合わせなければと思います。

この春に行われた県P連酒田研修会での東海大学小澤教授の『学力・体力・気力向上は生活習慣の立て直し』の講演に身震い感動し、その場の懇談会で伊藤校長と小澤教授に出向いて本校での講演を依頼した事で、この秋のPTA研修の実現となりました。11月2日(月)の日中は生徒へ、夜は保護者へと同日同決起の内容で2部構成にて親子に火を点けます。生徒の皆さんは全員聞きますので、是非多くの保護者の方より参加頂きたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

ホームページのご案内「中央高校の全てがわかる」http://www.tsuruokachuo-hed.jp/
鶴岡中央高等学校
発行 鶴岡中央高等学校PTA広報部(〒997-0017鶴岡市大宝寺日本国410)
TEL0235-25-5724 FAX0235-25-5734
発行日 2015年10月9日 「時代は中央」Vol.52

PTAは楽しく無ければ!! 保護者の皆様へ

保護者の皆様へのお願い(校長からのメッセージ)

校長
伊藤 吉樹

インターネットやスマートホンは、私たちに素晴らしい恩恵を与えてくれました。一方で、LINE等SNSをめぐるトラブルは後を絶たず、若者のスマホ依存症が社会問題化しています。

1日24時間の内、8時～18時は学校と部活、睡眠時間を除けば、高校生の自由になる時間は23時までのわずか5時間ほどです。この中で夕食・入浴・学習(最低3時間)等の全てをこなさねばなりません。スマホは最遅22時まで、1日1時間以内が上限だと思うのです。もしそれ以上スマホを使用しているようであれば、その人に夢の実現は無理、それは家庭の責任でもあると思うのです。

ご子息・ご息女はまだ未成年者です。スマホの使い方について、各家庭で話し合い、ルールを作ってはいかがでしょうか。家族の会話を増やすこと、家庭での過ごし方に口を出すこと、PTA行事や学級PTAに積極的に参加することを強くお願いし、校長からのメッセージとします。

新時代を担う子ども達の為に

PTA副会長
伊藤 秀紀

8月19日～21日 岩手県盛岡市
第65回全国PTA連合大会「岩手大会」

全国からPTA会員約一万人の参加を得て、一会場では収容しきれず、二会場に分けて行われた。両会場では、「未来圏からの風をつかめ!!」「新時代を担う君たちと共に」をテーマに研修、そして熱心な討議が行われた。その中で感じた事は、教育の原点である、家庭教育をもう一度見直す必要があるという事です。「真正面から子どもと向きあっているか?」という問いかけに自信を持って「はい」と答えられる親がどれくらいいるでしょうか、また親は気づいてなくとも子どもは親の背中を見て育つという事を改めて感じさせられた研修になりました。

今、社会的に大きな問題になっている若年者のネットトラブルの解決にも大きくかかわってくるのではないかと強く感じたすばらしい大会でした。

『山形県高等学校PTA連合会研修会(鮑海大会)』に参加して

PTA副会長
本多 一明

去る6月12日(金)にホテルリッチ&ガーデン酒田を会場に開催された研修会に参加いたしました。「共に学ぶ」～学校・家庭・地域をつなぐ～をテーマに研修を行いました。研修会では、山形北高、北村山高、荒砥高の各高校PTAによる活動事例の発表と、『学力・体力・気力の向上は生活習慣の立て直しから～一流スポーツ選手・タレント・作家・東大生に学ぶ8つの習慣～』と題して、東海大学体育学部の教授で医学博士の小澤治夫先生から、大変熱く、楽しく、しかも説得力のある講演をお聞きしました。小澤先生がおっしゃる『8つの習慣』の一部を紹介すると、①朝食をしっかりとる、②遅刻をしない、③体をよく動かす、④スマホやインターネットは1日1時間以内、といったような生活習慣を身につける事が学力・体力・気力の向上につながるということでした。

小澤先生のお話をPTAのみなさんにもぜひ聞いて頂きたく、来る11月2日(月)に日中は生徒、夜はPTAに講演をして頂く事で計画しておりますので、あと4つの生活習慣を含めて、医学的根拠に基づいた小澤先生のお話を直に聞いて頂ければ幸いに思います。

鶴岡中央高校 PTA研修会のご案内

「高校生を元気にする生活習慣づくり」

～学力・体力・気力向上は生活習慣の立て直し～(仮題)

◆日時 2015年11月2日(月)
18:20～20:00(受付/17:50～)

◆場所 こぴあ2階ホール
(こぴあPが満車のときは、中央高校Pへ駐車下さい)

児童生徒の生活・体力・学力向上のための調査・研究に取り組む日本の第一人者

講師
東海大学体育学部教授
日本発育発達学会理事・医学博士
小澤(おざわ) 治夫(はるお) 先生

この春酒田で行われた県P連研修会で小澤教授の「学力・体力・気力向上は生活習慣の立て直し」の講演を聞いたPTA本間会長が身震い感動し、その場で伊藤校長と二人、小澤教授に中央高校での講演を依頼したことが、今回の研修会に結びつきました。「感動の講演」を中央高校の全ての保護者の方々から聞いていただきたいと願っています。

同日中央高校生徒対象に小澤先生の講演(13:25～15:00)があります。生徒と同じ内容の講演を聞いていただき、ぜひ家族の話題にしてください!!

PTA部会紹介 広報部編

今年はエンマコオロギの鳴き初めが、平年よりも早く、夏と秋との交錯が自然界でも、また生徒達の学校でのあり方でも始まっている様に感じられます。

広報部の新しい取り組みとして、一年次部員の方々が中央祭を保護者目線で撮影しました。鮮度が伝わる画像を第52号でお届け致します。また中央高校の注目の的です「先端生命研究所」より卒業生のお仕事振りも知って頂ける紙面で、親と子で、深まる秋に会話も深めて頂き、本紙を楽しんで頂ければ嬉しいです。

広報部長 柴田八重子

生徒の進路活動紹介

7/1 卒業生講話 ～先輩から学ぶ～

卒業生紹介
日下部 紘子 氏
本校普通科
平成16年3月卒業

1・2年次 普通科 未来探求

- 東海大学海洋学部水産学科水産資源開発課程卒業
- 沖縄海洋博覧会記念公園海獣科勤務
(沖縄美ら海水族館イルカの飼育担当)
- ユニクロイオンモール三川店勤務
- 現在 慶應義塾大学先端生命科学研究所 勤務

進路選択のためやるべきこと ～生徒の気づき～

- たくさん経験して自分に転がっているチャンスを逃さない
- 大学に行くと同じ夢を持っている人がたくさんいて、専門的な知識をたくさん得ることができる
- 気になった大学や専門学校にはオープンキャンパスへ行く
- 色んな事に挑戦する
- とにかく行動してみる
- 高校でできることはなんでもやる
- ボランティアや研修にたくさん参加する
- 興味があることを見つけ、楽しく何かに結びつきそうなことをやる
- 本や資料をたくさん読む
- ボランティアなど自分から夢に関係あることに近づいていく
- 未来の可能性を感じることができたし、自分から行動しないと、と思えた
- 早く興味のあることを見つけたい
- どんな職に就きたいか具体的に考えるべきと感じた
- チャンスをすぐに見つけられるように広い視野をもっておくこと
- 好奇心は物事をやるときの原動力だと思った

52号編集担当 柴田八重子・中村利絵・梅津みゆき・齊藤美恵・三浦佳子・今野博美・田澤みどり・小野寺由紀・工藤千代・大野みどり

6/26(金)・27(土) 中央祭2015「NEXUS ～ぼくらがつくる軌跡の結晶～」

1日目 6/26(金) オープニング・3年次ダンス 全校企画・各企画

2日目 6/27(土) 準備・一般公開(10:00～14:00) エンディング

中央祭コンテスト結果

	クラス	名前
1年次企画最優秀賞	1-6	
1年次装飾 〃	1-5	
2年次企画 〃	2-7	
2年次企画優秀賞	2-1	
3年次ダンス最優秀賞	3-5	
〃 優秀賞	3-2	
〃 優良賞	3-1	
〃 特別賞	3-7	
Mr. 中央	3-4	五十嵐 樹
Ms. 中央	3-4	佐藤 理沙子
Mr. マッチョ	3-1	三浦 佳太
Ms. スマイル	3-3	難波 舞香
かわ系男子	3-3	佐藤 佑亮
かっ系女子	3-5	清野 はつか
Mr. 先生		佐藤 耕太郎 先生
Ms. 先生		工藤 早紀 先生
ポスター最優秀賞	3-4	松平 千聖
エンターティナー	3-6	三浦 将太

三年次PTA中央祭での取り組み

三年次部長
斎藤 正之

6月27日、低気圧の影響で暴風雨が予想された中央祭、始まると雨は降らず見学客も多く結果的に盛会裏に終えることが出来ました。

打ち合わせで、無の状態から内容を「杵打ち餅」に決め、集客の目玉に急きょ、アル・ケッチャーノにメニューの監修を依頼することになりました。飛び込みで突然依頼したにもかかわらず、奥田シェフ並び斎藤ゼネラルマネージャーより快諾いただき「トマトピューレと岩のりのイタリアン風味餅」が誕生しました。あんこ餅・汁餅と3品200食完売というゴールに向け、保護者が一体となって取り組みました。父親は繰返し大きな声で宣伝し、母親は食器もままならない中、餅をちぎって容器に入れ販売。PTAに携わらないと出来ない経験をさせていただきました。

三年次主任田中勉先生はじめ3年次PTA役員、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

部活動の軌跡

水泳競技

県総体 男子平泳ぎ100m第7位／東北高校選手権大会 出場

努力と結果

正直東北大会に出場できるとは思っていませんでした。昨年の冬からずっと不調続きで、格下の選手にも負け、何度も水泳を辞めたいと思いました。それでもいつか結果がついてくると信じ、辛い練習にも耐えてきました。その努力のお陰で東北大会出場を決めることができたのだと思います。

努力し続けることは困難で、辛いものですが、それを続けた者が結果を得られるのだと思いました。

3年3組
門脇 一平

吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール第54回山形県大会 小編成の部 金賞

大会を終えて

私達は、全日本吹奏楽コンクール山形県大会で金賞を受賞することができました。去年よりも良い賞を受賞することができ、毎日の長時間にわたる練習の成果を出すことができたと思います。しかし、吹奏楽部の目標であった東北大会には、あと一歩のところで出場することができなかったので、とても悔しい思いをしました。なので来年は今年よりも良い賞を目指して、東北大会に出場し、良い演奏をしてもらいたいと思います。

3年4組
工藤 真衣

アーチェリー部

県総体 女子個人2位／全国高校総体 出場

全国の舞台で

私が入学してからの三年間、中央高校にインターハイ出場の文字はありませんでした。他校の垂れ幕を見るたびになぜ中央にはないのかと悔しく感じていました。だから、選抜に選ばれた時はとても嬉しかったです。インターハイでは、全国の色んな方々と交流を深め、良い経験となりました。結果としては自分の力を出し切れず悔しい思いをしましたが、全国の舞台に鶴岡中央の名を背負い、楽しんで試合ができたことを誇りに思います。

3年1組
菅原 綾乃

情報科学系列

全国高等学校簿記コンクール 個人の部 出場

3年総合学科 菅原 拓

陸上競技部

県総体 七種競技 優勝／東北高校陸上競技大会 出場

集大成

私は混成競技と100mハードルで東北大会に出場しました。混成は七種目をこなさなければならず、苦手な種目は泣きながら練習しました。試合は七種目とハードルを2日間で行うハードなスケジュールでした。インターハイには出場できませんでしたが、自己ベストを大幅に更新し四位入賞で終わることができました。仲間や家族、お互いを高め合い励まし合ったライバルがいたから三年間続けることができました。応援ありがとうございました。

3年3組
阿毛 清夏

情報科学系列

Google主催 ウェブレンジャープログラム アンバサダー賞（全国4組）受賞

3年総合学科 三浦 将太・工藤 祐希・佐藤 隆

天晦太鼓部

第39回全国高総文祭 郷土芸能部門 文化連盟賞受賞

全国高等学校総合文化祭に出場して

天晦太鼓として8年ぶり、私はもちろん初めての全国大会でした。全国大会に向け、1月の東京遠征を皮切りに本格始動して約半年、できる限りのことをやってきました。本番前は全員で円陣を組み、それぞれの決意表明を行い、チーム一丸となって演奏できました。練習の成果を出し切り、すがすがしい気持ちで演奏を終えることができ、満足しています。来年の広島大会出場を目指し、今後も精進していきたいと思います。

3年4組
五十嵐あかね

柔道部

全国高校柔道選手権 県予選大会 女子団体 第3位
全国高校柔道選手権大会東北地区大会出場